

令和4年度  
社会福祉法人 佐呂間町社会福祉協議会 事業報告

◇ 総括 ◇

令和4年度の後半から、コロナ感染症による各種規制が緩和されてきておりますが、依然として収束宣言には至っておりません。

しかしながら、町内外での会議開催・各団体の事業や活動が、計画通りに実施されるようになり、以前のような活気が伺えるようになりました。

これからは、社会福祉協議会としても地域住民や各組織と連携した各種支援事業をスムーズに進められるものと期待しております。

第5期地域福祉実践計画（令和3年度～令和7年度）は、令和4年度においても計画推進における事業展開は一部の実施にとどまりましたが、社協関連団体主催のイベントや大会は参加者多数で実施できるようになり、それらの組織が困難を克服しようとする決断と熱意に感銘しております。

令和4年度、本会の運営・事業活動に要した費用は、9会計合わせて収入総額 79,333,669 円、支出総額 77,487,370 円、当期資金収支差額 1,846,299 円の決算額となっております。

収入において、町補助金・受託金収入の合計が 66,056,183 円となり、全体の 83 %を占めております。

収入の内訳で、社協会費 2,234,100 円と寄附金 2,713,000 円は、地域福祉推進事業の財源として、当初計画していた事業すべてに活用させていただきました。

創立70周年を節目として記念誌を発刊させていただきましたが、社会福祉協議会としての役割「ささえる、つなげる、ひろげる」を、これからも念頭に置きながら、実践計画の3年目の遂行に向けて、地域住民・関係団体・行政・企業等との連携・協働を図り、社協本体の組織力強化を進め、それらの体制を充実できるよう努めてまいります。

## 令和4年度佐呂間町社会福祉協議会事業実績書

第5期佐呂間町地域福祉実践計画の2年目として基本理念『誰もが幸せ感じる福祉を求めて』の具現化を目指し、地域福祉の充実を図りました。

### ■重点推進項目別内訳

#### 1. みんながつながり支え合う地域づくりの推進

##### 1) たすけあいチームの活動支援

- ・ 17自治会内のたすけあいチームの活動内容の把握と、自治会長会議などでの情報提供
- ・ 地域の福祉問題、生活課題などの意見を反映した活動支援への取組  
自治会福祉推進活動助成金の交付 534,000円
- ・ 災害備品整備事業による発電機整備  
浜佐呂間、幌岩、知来、西中央の4自治会に整備完了
- ・ 冬期間の地域内除雪体制の整備  
除雪依頼等での当該たすけあいチームとの連絡調整  
【新規事業】福祉路線対象外世帯向けのたすけあいチーム除雪サービス  
利用助成要綱の制定

##### 2) 参加型事業の支援及び検討

- ①ふれあいサロン事業等の運営支援と協力
  - ・ サロンおひさま、若佐ふれあい会への助成と支援を実施
- ②ふれあい広場2022サロマの開催
  - ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ③第14回ふれあいチャリティステージ
  - ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ④第24回かまくら雪まつりの開催支援
  - ・ 4年ぶりに開催、来場者350名以上
- ⑤キャンドルナイト事業の実施
  - ・ アイスキャンドル用ろうそく配付336本

### 3) ボランティア活動の推進

#### ①社会福祉体験事業の推進とボランティア指定校への活動支援

- ・ボランティア指定校助成金 150,000円（町内3小学校）

#### ②ボランティア連絡協議会との連携と保険加入促進

- ・加盟団体（38団体）、ボランティア保険加入（529名）
- ・ボランティア交友会の解散
- ・4年ぶりにボランティア交流会の開催、65名参加  
5団体に結成20年表彰（かるがもネットワーク、若佐ふれあい会、東たすけあい、武士たすけあい、栃木たすけあい）

#### ③企業等の地域貢献活動との連携

- ・かまくら雪まつり開催に伴う企業協賛協力依頼  
（建設業協会、土木技術者協会、青年部、出店事業者等）

#### ④ボランティア活動への参加促進

- ・全道・管内で開催したボランティア研修への参加

#### ⑤住民活動支援の促進

- ・サロン等への事業協力

### 4) 困窮者支援の推進

- ・生活福祉資金コロナ特例貸付2件、オホーツク相談センターふくろうとの連携支援、愛情資金貸付1件

## 2. 福祉問題・生活課題を解決するための仕組みづくり

### 1) 既存の地域福祉事業についての運営検討

#### ①在宅福祉各種サービス

- ・給食宅配 731食
- ・紙おむつ支給：年2回半年分ごと配付 配付人数 59名
- ・ふれあい郵便 民生児童委員の協力により毎月配付 対象222部

#### ②子育て支援事業

- ・子育てグッズレンタル事業 66台中29台レンタル中
- ・子育てバザー事業（開催支援）2回開催 183名来場

- ・ スキーリサイクル事業 計 53  
スキー19台、ブーツ20足、ポール14セット
- ・ 【新規事業】自転車リサイクル事業 7台
- ・ 子育て世代向けお役立ち講座開催  
親子で貯金体質に「未来が輝くマネー講座」 参加者9名

### ③参加型事業の検討

- ・ 在宅ひとり暮らし高齢者の集い（弁当配付事業に変更）  
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、参集型で開催せず、代替事業として弁当配付事業を実施

年2回（日赤奉仕団との共催、社協独自実施を各1回）延445食配付

### ④相談支援体制（心配ごと・消費生活・障がい者自立支援等）

- ・ 助言に留まらず、斡旋対応など、住民要望に即した相談支援を実施
- ・ 心配ごと相談件数3件

### ⑤共同募金事業 地域イベントでの募金活動、赤い羽根、歳末たすけあい

### ⑥地域老人施設整備費助成（地域公民館等の備品整備）

- ・ 西富自治会、仁倉自治会の2箇所助成

### ⑦福祉関係団体の育成・支援

- ・ 16団体 882,500円

老連、身障、遺族会、母子会、ボ連協、日赤、あやめ会、さわやか共同作業所、睦会、朗読の会、かるがも、サロンおひさま、若佐ふれあい会、スポーツ少年団本部、佐呂間高校ボランティア、佐呂間学習指導室

### ⑧介護予防・日常生活支援総合事業（生活支援コーディネーター）

- ・ エルダーシステム、ふまねつとを活用した介護予防事業を老人クラブ等に実施 エルダー2回実施 7名参加

## 2) 幅広い住民相談窓口や新たな福祉事業の確立

- ・ 除雪等のご近所トラブル、スマホ等を悪用した被害の相談、被害防止のための操作説明など、相談・支援内容は多岐にわたり、職員対応はもとより町内外の専門機関や関係職との連携を密に対応している

### 3) ホームヘルプサービス事業の円滑実施

- ・訪問介護及び障害福祉サービスの円滑実施を図るとともに、ホームヘルパーの研修及び育成を積極的に実施し、質の良いサービス提供に努めている

## 3. 住民に顔の見える社会福祉協議会をめざして

### 1) 社協活動の可視化推進

- ・定期的な広報誌の発行、行事や事業、各種福祉サービスの啓発を図る
- ・社協だよりの発行 年4回、ホームページの管理運営、SNS（Facebook、Twitter）を活用した広報活動、企業LINEアカウントを使用するの広報活動、出前講座の開催
- ・社協創立70周年記念誌の発刊